

平成 30 年度事業計画

<重点方針>

～ 「つながり」から「参画」へ ～

1 地域福祉活動計画の推進及び策定

現行の地域福祉活動計画(以下、「第3次計画」という。)が計画最終年度を迎えることから、平成 30 年 4 月から5年間を計画期間とした次期地域福祉活動計画を策定します。

第3次計画の推進においては、ふれあい・いきいきサロンの活性化や多様な機関との連携した活動の創出が進展しており、これら地域福祉の担い手である方々の参画を促しながら策定を進めます。

2 地域福祉推進協議会との連携

孤立しがちな高齢者世帯や子育て世帯を地域につなぐ働きを持つ地域福祉推進協議会は住民にとって身近な地域福祉の主体です。地域社会の高齢化・核家族化が進展するに従い、その活動が多様化しつつあります。

地域福祉推進協議会が、新たな活動を始める場合や生活課題の解決に取り組む場合、担当コミュニティワーカーがきめこまやかな相談支援を行います。

3 地域福祉に関わる機関・団体との連携の推進

世帯が抱える生活課題は多様化・複雑化しており、住民主体の活動あるいは専門機関だけでは解決できないものもあります。社会福祉協議会が持つ、福祉関係機関・団体、社会福祉法人及び民間事業者等とのネットワークを活かし、地域住民と専門機関・関係団体等が一体となって課題の解決に取り組むことができるよう働きかけます。

(背景と現状)

近年、高齢化や核家族化の進展により、家庭や地域における人のつながりが希薄となり、社会的孤立や制度の狭間等の福祉課題が多様化・複雑化しています。

国においては、平成27年9月に、「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」を発表し、共生社会の実現を目指すための改革方針として、「全世代・全対象型地域包括支援体制」の構築を示しました。これに対応するかたちで全国社会福祉協議会では、「社協・生活支援活動強化方針」を見直し、平成29年11月にあらゆる生活課題へ対応などの行動宣言と地域における深刻な生活課題の解決や孤立防止に向けた第2次アクションプランを提示しました。

名古屋市では、団塊の世代が75歳以上となる2025年(平成37年)までに、他の地域と比較して急激に高齢化が進むと見込まれています。

名古屋市と名古屋市社会福祉協議会が一体的に策定した「なごやか地域福祉 2015」(地域福祉計画・地域福祉推進計画)に基づき市域における地域福祉を進めており、住民同士のつながりをつくる地域福祉推進協議会の活動も注目されています。

本会においては、第3次計画「つながる・ひろがる・かよいあう～誰もが安心して生活できる千種区のために～」(期間:5年)が最終年度を迎えることから、本会を取り巻く社会情勢や現計画の取り組み状況を踏まえ、次期計画の策定準備を進めています。

近年、地域福祉推進協議会によるふれあいネットワーク活動(複数体制による見守り)やふれあい・いきいきサロン活動、ボランティア養成講座修了者による活動の実践などの動きが活性化しています。その一方で、地域支えあい事業を実施する区域は、市域全体に比べて少ない状況にあります。

コミュニティワーカーによる学区担当制を堅持し、福祉活動を行う方への相談支援を行うとともに、地域住民や多様な機関・団体と連携し、生活課題の把握と課題解決に努めています。

「高齢者はつらつ長寿推進事業」は、次期受託期間(平成30年度から3年)の間についても引き続き本会が受託します。また、「千種区西部いきいき支援センター事業」についても、引き続き名古屋市社会福祉協議会が受託します。

I 地域福祉の推進

1 地域福祉活動計画の策定・推進

(1) 第4次地域福祉活動計画の策定【臨時】

- ① 策定委員会の開催
- ② 多様な地域福祉の担い手の参画促進

(2) 第3次地域福祉活動計画の推進

- ① 住民主体のネットワークづくりモデル事業における活動の創出
- ② 多様な主体と連携・協働した福祉活動の創出



<保育所と連携した託児ボランティア養成講座>



<地域福祉活動計画 推進チーム打合せの様子>

2 地域の福祉ネットワークの推進

(1) 地域福祉活動に関する相談支援

(2) 地域福祉推進協議会への支援

- ① 地域あんしん事業(メニュー助成)の実施
- ② ふれあいネットワーク活動(複数体制による見守り)の実施地域の支援

現状(2月末)	平成30年度目標
9学区/15学区	12学区/15学区

- ③ 地域福祉推進協議会研修会の開催

(3) ふれあい給食サービス事業への支援

ふれあい給食サービス事業研修会の開催

(4) 名古屋市地域支えあい事業の実施

委託事業

① 実施学区への支援

- ア. 地域支えあい活動連絡会議への協力
- イ. ご近所ボランティアコーディネーターとの連携及び業務補助
- ウ. 地域ボランティアの養成に関する支援

② 実施学区の拡大

現状(2月末)	平成30年度目標
1学区/15学区	3学区/15学区



<ご近所ボランティアによる見守り活動>



<地域支えあい活動連絡会議の様子>

(5) 高齢者サロンの整備等生活支援推進事業の推進

委託事業

① 多様な主体が実施するふれあい・いきいきサロン[※1]への相談支援及び助成

高齢者サロンの設置目標[※2] (共生型サロン含む)	現状(2月末)	平成30年度末
	63件	69件

② サロン主催者の集いの場「サロン主催者サロン」の開催

活動計画重点事業

③ 「ふれあいいきいきサロンマップ」の発行等サロン活動の普及啓発

④ 生活支援の基盤整備と充実を図る「千種区生活支援連絡会」の開催



<サロン主催者サロン>



<千種区生活支援連絡会>

※1 ふれあい・いきいきサロンには、子育て・障がい児・者のサロンや“子ども食堂”も含まれます。

※2 全市的な目標設置件数は平成31年度に1,000件で、29年度中に目標を達成する見込みです。

3 福祉活動・ボランティア活動への支援

(1) 福祉活動への助成

- ① 高齢者福祉活動 学区敬老事業助成、ふれあい給食事業助成など
- ② 障がい児・者福祉活動 手をつなぐ育成会が行う福祉活動への助成など
- ③ 児童・青少年福祉活動 子ども会活動、学童保育活動への助成など
- ④ 住民全般福祉活動 地域福祉推進協議会あんしん事業助成など

(2) ボランティアセンターの運営

- ① ボランティアの活動支援(相談受付・需給調整・ボランティア保険等の受付)
- ② ボランティア連絡協議会の運営支援
- ③ ボランティア養成講座の開催
- ④ 子育て支援サンタクロースボランティアの派遣
- ⑤ 広報なごや区版や書籍の点訳・音訳の支援
- ⑥ 災害ボランティアセンターの運営

(3) 千種区在宅サービスセンターの運営

- ① 研修室、調理実習室の貸出
- ② ボランティアルーム、点訳室、録音室の管理運営

4 地域ぐるみの福祉学習、福祉情報の発信

(1) 福祉学習の推進

- ① 小、中学校等の福祉体験授業の支援
- ② 出張福祉学習の実施

(2) ボランティア・NPO応援助成事業の実施

(3) 広報紙「はなみずきのまちだより」の発行、ホームページの運営

(4) 福祉PRキャンペーンの実施 活動計画重点事業



<福祉PRキャンペーン in 千種図書館>



<サロンPRキャンペーン in あじさいひろば>

(5) 千種区民まつりへの参加

5 高齢者の閉じこもり予防と地域活動参加の促進

委託事業

(名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業)

- (1) 持続的に自己目標を設定(ステップアップ)するしくみの活用 【新規】
- (2) 情報誌「はつらつだより」の発行
- (3) 事業参加者がはじめる新たな活動(自主サロン・地域貢献グループ等)への支援



<高齢者はつらつ長寿推進事業>



<参加者による地域貢献(赤い羽根バザー)>

6 困りごとを抱える世帯等への支援

- (1) 多機関協働による相談支援 【拡充】
- (2) 障がい・生活困窮世帯への相談支援
 - ① 生活福祉資金の貸付(県社協協力事業)
 - ② 緊急小口資金貸付事業償還事務
- (3) 名古屋市いこいの家事業(障がい児の居場所づくり) 委託事業
- (4) 高齢者や障がいのある方への寝具クリーニングサービス事業の実施

II 法人基盤の整備・財源の確保

1 法人基盤の整備

- (1) 理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会の開催
- (2) 会員の募集

2 自主財源の確保

- (1) 賛助会員(法人・個人)の募集
- (2) 寄付金の受け入れ
- (3) 地域福祉基金の運用・活用策の検討

3 赤い羽根共同募金運動への協力

- (1) 千種区共同募金委員会事務局の運営
- (2) 多様な団体による街頭募金活動の推進



<共同募金助成事業での募金PR(のぼり)>

Ⅲ 地域と連携した福祉の拠点づくり

1 老人デイサービスセンターの運営

- (1) 通所介護事業の実施
- (2) 予防専門型通所サービス・ミニデイ(介護予防・日常生活支援総合事業)の実施
- (3) ボランティアと連携した企画等の実施(喫茶、レクリエーション活動及び季節行事等)

2 都福社会館の運営 指定管理事業

- (1) 生活、健康相談などの相談事業
- (2) 教養の向上及びレクリエーション等に関する事業
- (3) 機能回復訓練(リハビリ体操、健康体操講座)
- (4) 健康づくり事業(医師の健康講話、おためし回想法)
- (5) 仲間づくり・憩いの場の提供(入浴事業、喫茶サロン)
- (6) 名古屋市北部回想法センターの運営
- (7) 出前回想法など地域との連携を視点とした事業
- (8) 認知症予防事業 委託事業

- ① 認知症予防教室の実施
- ② 認知症予防普及・啓発リーダー養成講座の実施
- ③ 認知症予防普及・啓発リーダーの派遣



＜認知症予防普及・啓発リーダーの派遣の様子＞

3 千種児童館の運営 指定管理事業

- (1) 子ども育成活動(多様な企画、季節行事等)
- (2) 子育て支援活動(ベビーマッサージ、育児相談等)
- (3) 地域福祉促進活動(ボランティア活動の場の提供等)
- (4) 留守家庭児童健全育成事業
- (5) 名古屋市中学生の学習支援事業(ひとり親家庭等)
- (6) 高校生の学習継続支援事業【拡充】
- (7) 中高生の居場所づくり事業
- (8) 移動児童館など地域との連携を視点とした事業



＜ボランティアによる絵本よみかせ＞

IV 名古屋市社会福祉協議会事業への協力と連携

1 千種区西部いきいき支援センター(地域包括支援センター)への運営協力 委託事業

- (1) 区域の地域包括ケアシステムの構築
 - ① 区地域包括ケア推進会議事務局の運営協力
 - ② 区地域包括ケア推進会議事業の実施
- (2) 高齢者に関する相談事業(総合相談・権利擁護)
- (3) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
- (4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援
 - ① 民生委員と介護支援専門員の交流会
 - ② 介護支援専門員研修会の開催
 - ③ ケアマネサロンの実施
- (5) 高齢者の見守り支援事業の実施
- (6) 認知症家族支援事業の実施
- (7) 認知症サポーター養成講座の実施
- (8) 認知症カフェの相談支援
- (9) 認知症初期集中支援チームの設置



＜認知症に関する知識等の普及活動＞

2 千種区介護保険事業所への運営協力

- (1) 訪問介護(なごやかヘルプ)事業の実施
 - ① 高齢者への訪問介護・介護予防訪問介護事業及び自立支援訪問事業
 - ② 予防専門型訪問サービス(介護予防・日常生活支援総合事業)の実施
 - ③ 障がい者等の居宅介護事業
 - ④ 産前・産後、ひとり親、養育支援などの家事介護サービス
 - ⑤ 制度では対応できない外出支援などの生活応援サービス
- (2) 居宅介護支援事業の実施
- (3) なごやかスタッフ[※3]及びその OB・OG の地域社会貢献活動の参加支援

※3 平成2年に名古屋市社会福祉協議会が開始した住民参加型在宅福祉事業「なごやかヘルプ事業」の訪問介護員(ヘルパー)の名称。高齢者、障がい児・者、子育て世帯など幅広い対象へ支援を行うことが特徴。千種区では約100名の方が活躍されています。(平成30年2月末現在)